学校番号	1302

令和８年度　（学）マリンライフ科

教科	（学）マリンライフ	科目	（学）小型船舶機関	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

小型船舶の機関に関する知識や、操船する技術・法律に関わる知識を学びます。学習方法は主にパワーポイントを使用し，実際の写真を使用しながら学んだ内容をプリントに記入します。また，ロープワークなどの操船に必要な技術の実技も行います。

どれだけ理解が出来ているかを測るためプリントを定期的に回収します。毎回しっかりと記入しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
小型船舶機関の構造及び、操船に関する法令の基礎的な知識を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
小型船舶の内燃機関の機構について理解を深め、安全に操作する方法について適切な判断ができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
授業目標等でふれる小型船舶操船の知識や法令について、興味・関心をもって授業に参加できるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・小型船舶機関に関する構造について，基本的な概念や原理･原則を理解し，知識を身につけている。 ・小型船舶の操作や法令に関する知識を身につけている。	・小型船舶機関について基礎的な内容を学んだ上で、その操作方法や注意点について考察し，導き出した答えを適切に表現している。	・小型船舶機について関心をもち，自ら授業を意欲的に学ぼうとする。また、小型船舶を操作するための法令や技術について関心をもち、考えることができている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	船舶操縦者の遵守事項	・水上交通の特性 ・小型船舶操縦者の心得	a:船舶操縦の特性について理解し，知識を身に付けている。 b:船舶操縦の特性とその歴史を振り返り，科学的に考察し，導き出した考えを表現している。 c:船舶操縦者としての心得や遵守事項について興味を持ち，意欲的に探求しようとする。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	交通の方法	・海事法規 ・海上交通安全法	a: 交通の方法に関しての探究活動を行い，課程や結果を的確に記録，整理している。また、海上法規について理解し，知識を身に付けている。 b: 海事法規について学び，さらにその注意点について考察し，導き出した考えを表現している。 c: 海上交通安全法に興味を持ち，意欲的に探求しようとする。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
2学期	運航	・船体の構造 ・航路標識 ・ロープ使用法 ・舵取り装置 ・操船 ・気象と海象	a： 船舶運航に関しての探究活動を行い，過程や結果を的確に記録，整理している。また、船体の構造について理解し，知識を身に付けている。 b: 操船とは何か学び，それを説明することができる。さらにその注意点について考察し，導き出した考えを表現している。 c: 操船に興味を持ち，意欲的に探求しようとする。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
3学期	内燃機関の概要理解	・熱機関に関する基礎理解 ・小型船舶に使用される内燃機関の種類と概要	a: 内燃機関について探究活動を行い，その結果を記録，整理することができる。また、内燃機関ついて理解し，知識とその役割や技術を身に付けている。 b: 内燃機関の設計について学び，説明することができる。また，その環境に対する影響についても学び，説明することができる。 c: 内燃機関について興味を持ち，熱機関について意欲的に探求しようとする。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度